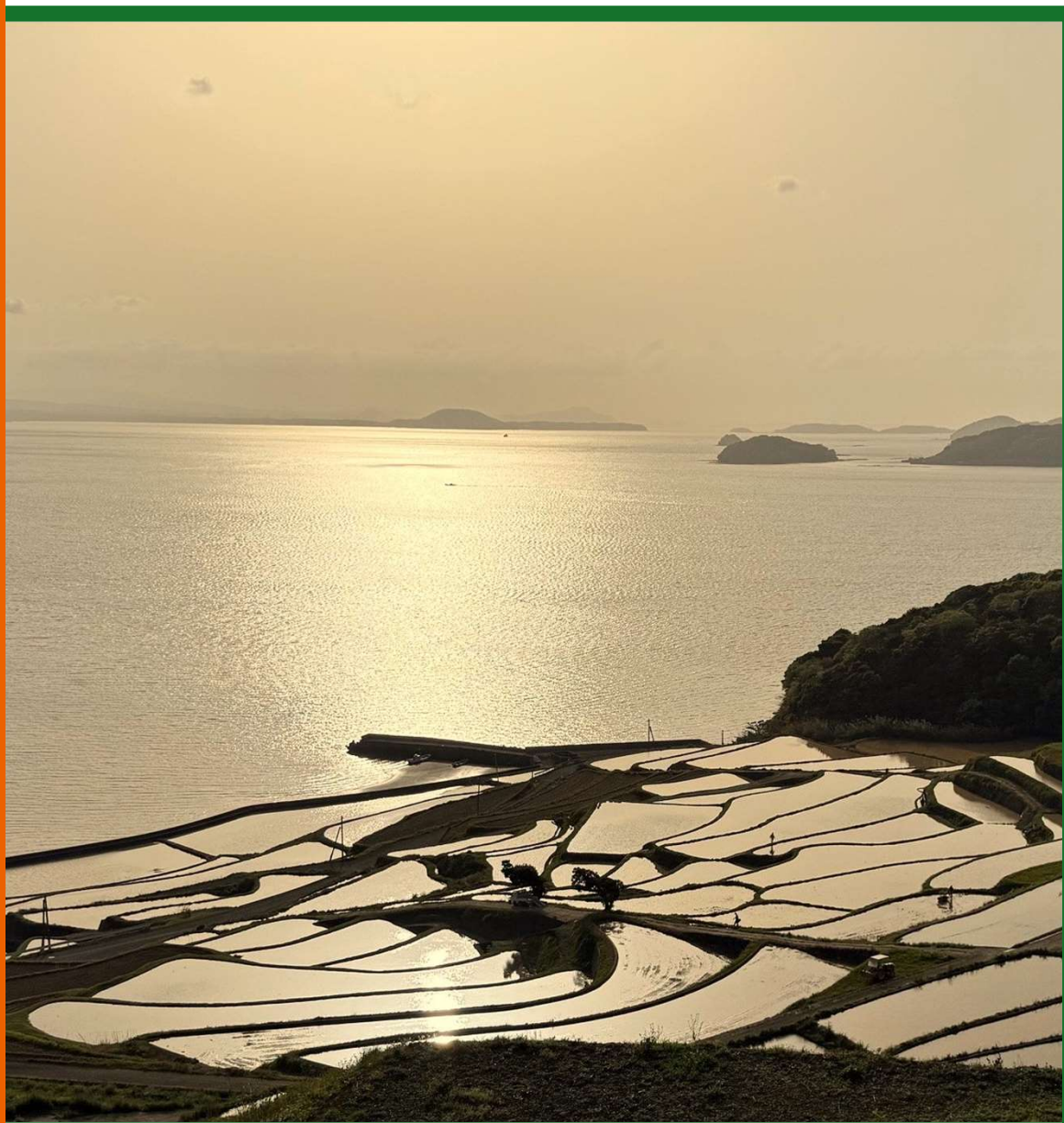


統計で見る

Kraao

九州農業の概要

令和7年度版



土谷棚田（長崎県松浦市）

令和7年9月
九州農政局 統計部

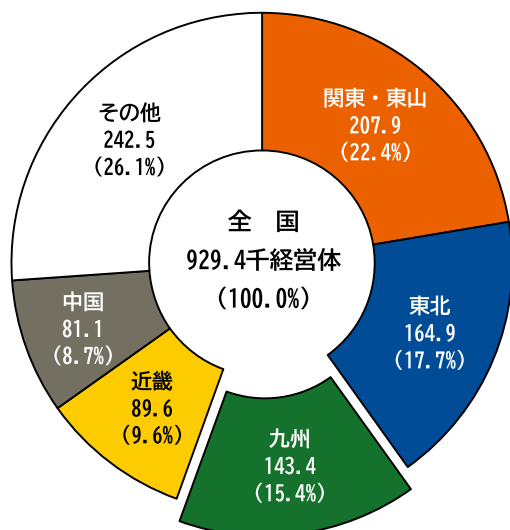
1. 農業経営体 - Agricultural Management Entity -



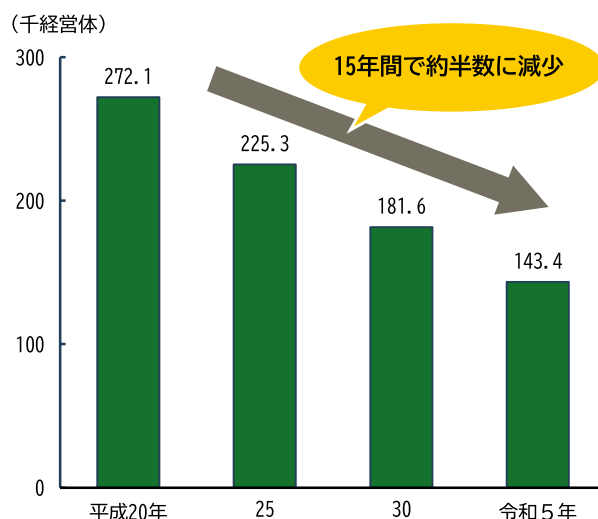
九州の農業経営体は15年前に比べ48%減少。

令和5年における九州の農業経営体数は143.4千経営体で、全国の15.4%を占めていますが、15年前（平成20年）に比べ128.7千経営体（47.3%）減少しています。

農業地域別 農業経営体数（令和5年）



農業経営体数の推移（九州）



資料：農林水産省統計部「農業構造動態調査」（以下同じ）

注：農業経営体とは、農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の1から3までのいずれかに該当する事業を行う者です。

- 経営耕地面積が30a以上の規模の農業
- 農作物の作付（栽培）面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業規模が次の農業経営体の外形基準以上の規模の農業
ア 露地野菜作付面積：15a イ 施設野菜栽培面積：350㎡ ウ 果樹栽培面積：10a エ 露地花き栽培面積：10a
オ 施設花き栽培面積：250㎡ カ 搾乳牛飼養頭数：1頭 キ 肥育牛飼養頭数：1頭 ク 豚飼養頭数：15頭
ケ 採卵鶏飼養羽数：150羽 コ ブロイラー年間出荷羽数：1,000羽
サ その他：調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する規模の事業
- 農作業の受託の事業

注：四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。（以下同じ）

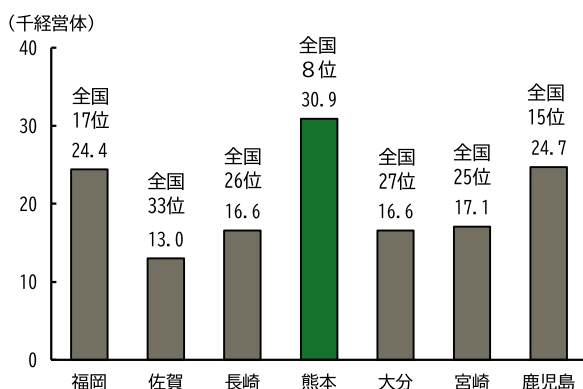


九州では熊本県が最も農業経営体数が多い。

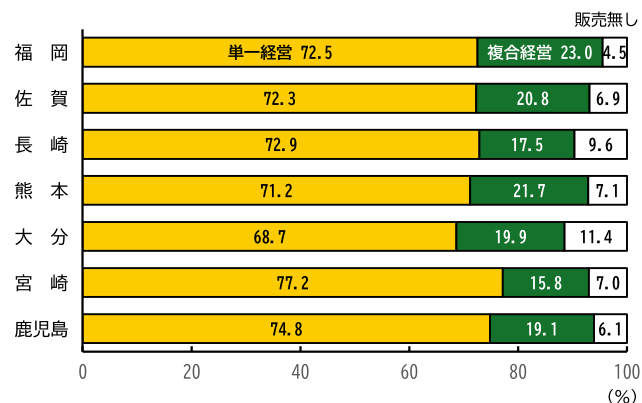
九州各県の農業経営体数をみると、熊本県が30.9千経営体（全国8位）で最も多く、次いで鹿児島県が24.7千経営体（同15位）、福岡県が24.4千経営体（同17位）と続いています。

一方で、農業経営組織別経営体の構成割合をみると、販売があった経営体の割合は福岡県（95.5%）が最も大きく、次いで鹿児島県（93.9%）、佐賀県（93.1%）と続いています。

九州県別 農業経営体数（令和5年）



九州県別 農業経営組織別経営体構成割合（令和5年）



1. 農業経営体（つづき）

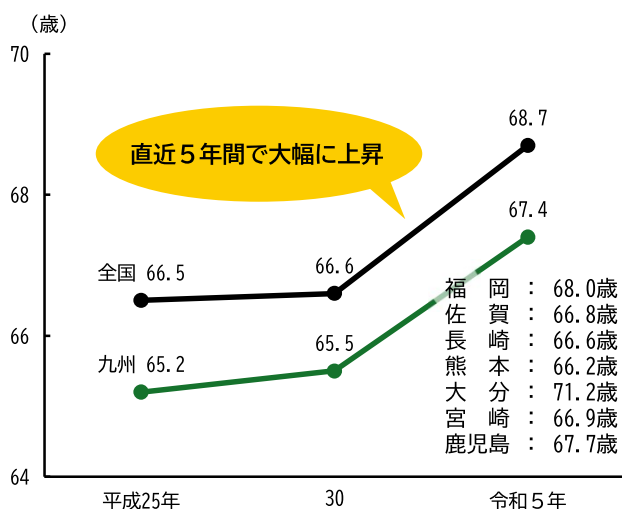


農業従事者の高齢化が進行。

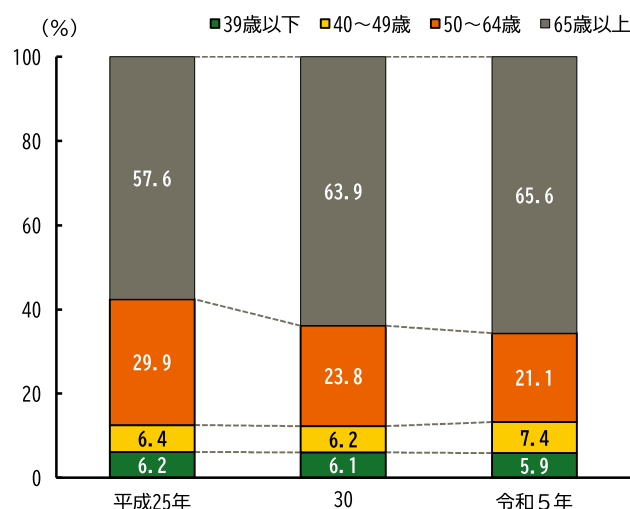
令和5年における九州の基幹的農業従事者の平均年齢は67.4歳で、全国平均を1.3歳下回っているものの、高齢化が進行しており、10年前（平成25年）に比べ2.2歳上昇しています。

また、基幹的農業従事者の年齢別構成割合の推移をみると、10年前（平成25）に比べ全体に占める65歳以上の割合が8.0ポイント上昇しています。

基幹的農業従事者の平均年齢の推移
（全国・九州）



基幹的農業従事者の年齢別構成割合の推移
（九州）



資料：農林水産省統計部「農業構造動態調査」（以下同じ）

注：基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者です。

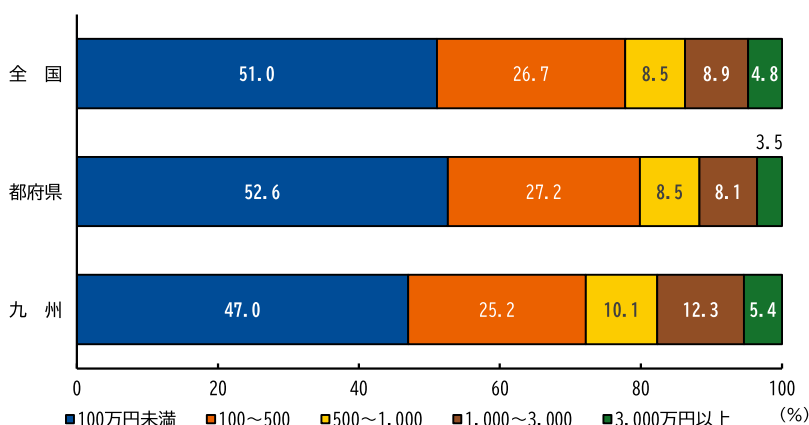


規模の大きい経営体が着実に増加。

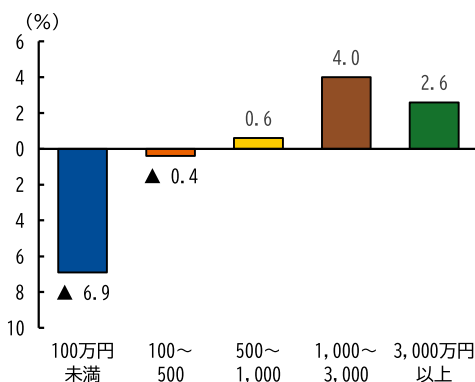
令和5年の農産物販売金額規模別経営体の構成割合をみると、九州は販売金額1,000万円以上の経営体の割合が全国平均を4.0ポイント上回っています。

また、九州の構成割合を10年前（平成25年）と比較すると、100万円未満の経営体の割合が減少した一方で、法人化等によって規模拡大が進み、1,000万円以上の経営体の割合が増加しています。

農産物販売金額規模別経営体構成割合（令和5年）
（全国・都府県・九州）



構成割合の変化（九州）
（令和5年／平成25年）



注：100万円未満は、販売無しを含みます。

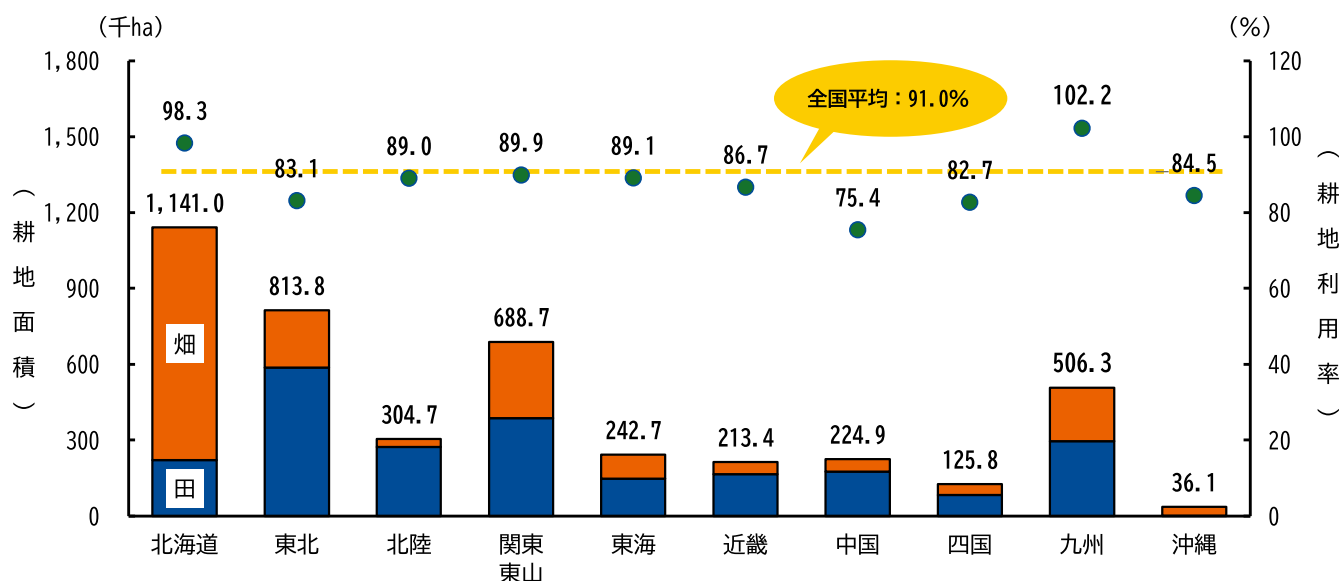
2. 耕地面積 - Cultivated Land Area -

九州の耕地利用率は全国で最も高い水準。

令和5年における九州の耕地面積は506.3千ha（田：295.8千ha、畑：210.5千ha）で、全国の11.8%を占めています。

また、耕地利用率は102.2%で、全国平均（91.0%）を大きく上回っていますが、これは他の地域に比べて二毛作が盛んに行われているためです。

農業地域別 耕地面積及び耕地利用率（令和5年）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（以下同じ）

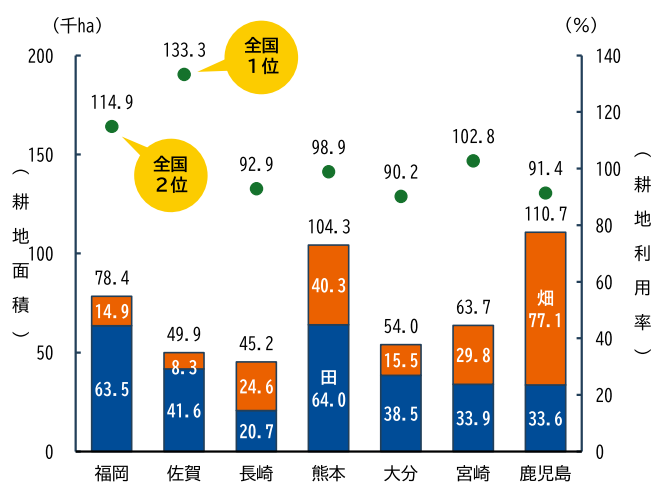
注：耕地利用率とは、（1年間の作付延べ面積÷耕地面積）×100%で算出し、この割合が高いほど耕地を有効利用しているといえます。

高い耕地利用率の一方で、耕地面積は減少傾向で推移。

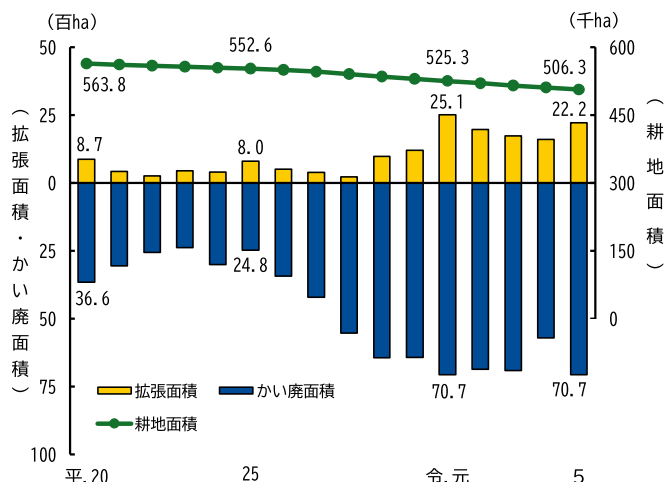
九州各県の耕地利用率を見ると、6県が全国平均（91.0%）を上回っており、佐賀県については全国1位の利用率となっています。

一方で、かい廃面積が拡張面積を上回る状況が続いており、九州の耕地面積は15年前に比べ57.5千ha（10.2%）減少しています。

九州県別 耕地面積及び耕地利用率（令和5年）



耕地面積及び拡張面積・かい廃面積の推移（九州）



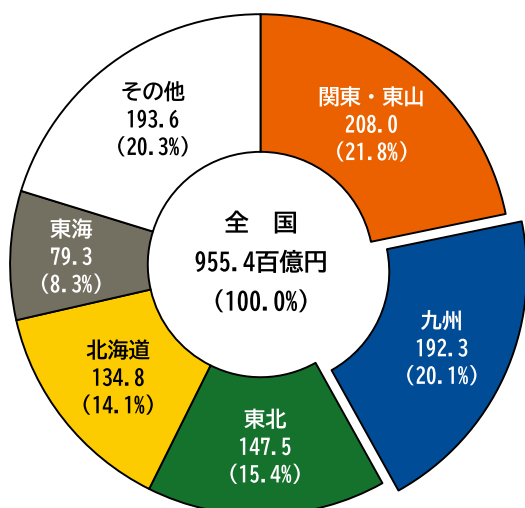
3. 農業産出額 - Agricultural Output -

九州の農業産出額は全国の20%。

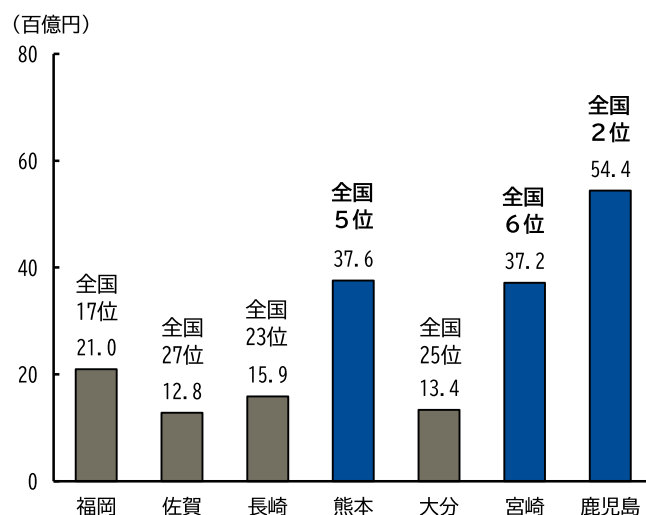
令和5年における九州の農業産出額は1兆9,226億円で、全国の20.1%を占めています。

県別にみると、鹿児島県が5,438億円（全国2位）で最も産出額が大きく、次いで熊本県が3,757億円（同5位）、宮崎県が3,720億円（同6位）と続いており、九州では鹿児島県、熊本県及び宮崎県の3県が全国10位以内に位置しています。

農業地域別 農業産出額（令和5年）



九州県別 農業産出額（令和5年）



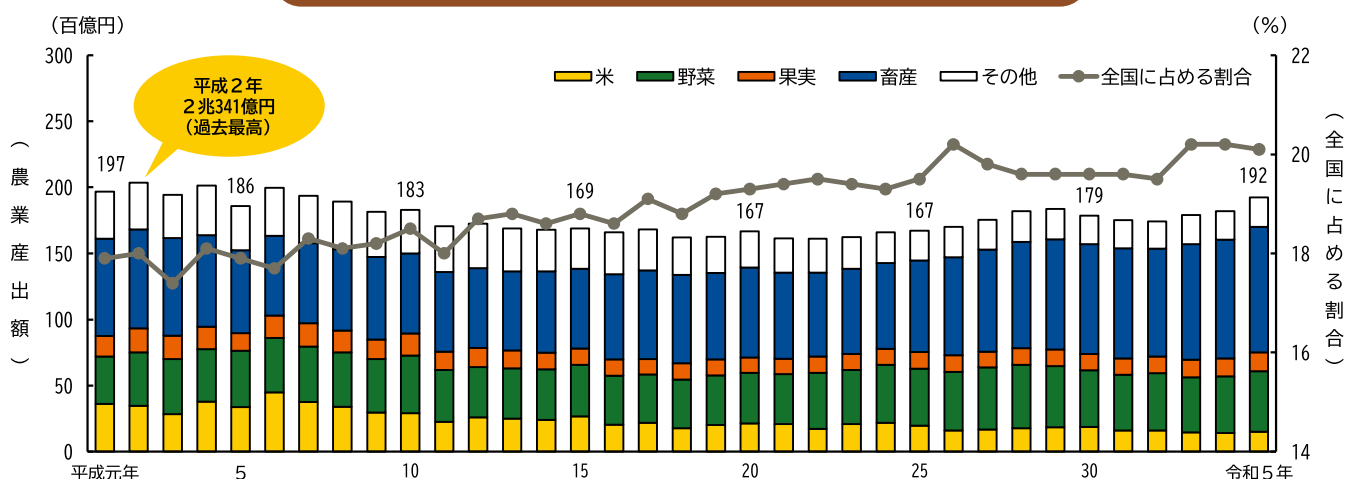
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」（以下同じ）
注：全国値は都道府県の合計です。

九州の農業産出額は近年増加傾向で推移。

九州の農業産出額の推移をみると、過去最高の平成2年（2兆341億円）をピークに緩やかな減少傾向で推移していたものの、平成23年以降、野菜や畜産を中心に上昇傾向に転じました。その後、平成30年に再度減少傾向に転じ、令和2年には新型コロナウイルス感染症の影響による需要の変化等あったものの、現在は畜産を中心に3年連続で増加しています。

また、全国に占める農業産出額の割合をみると、近年は20%前後で推移しており、総面積、総人口、主要経済指標から「1割経済」といわれる九州において、農業が重要な産業であることが分かります。

農業産出額及び全国に占める割合の推移（九州）



3. 農業産出額（つづき）

 北部では野菜や果実、南部では畜産が上位に位置している。

各県の農業産出額の上位品目をみると、米と肉用牛が全県に共通している一方で、地理的・気候的条件の違いから、九州北部では野菜や果実、九州南部では畜産が上位に位置しています。

令和5年 農業産出額上位品目（九州・各県）

九 州			福 岡			佐 賀			長 崎		
品 目	産 出 額	全 国 順 位	品 目	産 出 額	全 国 順 位	品 目	産 出 額	全 国 順 位	品 目	産 出 額	全 国 順 位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
農 業 産 出 額	19,226	-	農 業 産 出 額	2,096	17	農 業 産 出 額	1,284	27	農 業 産 出 額	1,590	23
肉 用 牛	3,072	-	米	338	15	米	245	25	肉 用 牛	250	7
ブロイラー	2,282	-	い ち ご	244	2	肉 用 牛	185	11	豚	142	15
豚	2,147	-	鶏 卵	118	22	み か ん	139	5	い ち ご	127	4
米	1,518	-	ぶ ど う	99	5	ブロイラー	101	9	ば れ い し ょ	115	2
鶏 卵	1,037	-	肉 用 牛	79	26	い ち ご	91	8	み か ん	105	6
生 乳	711	-	生 乳	73	23	た ま ね ぎ	71	3	米	101	39
い ち ご	705	-	ね ぎ	57	6	豚	55	27	鶏 卵	92	25
ト マ ト	618	-	な す	56	4	き ゅ う り	40	9	ブロイラー	89	11

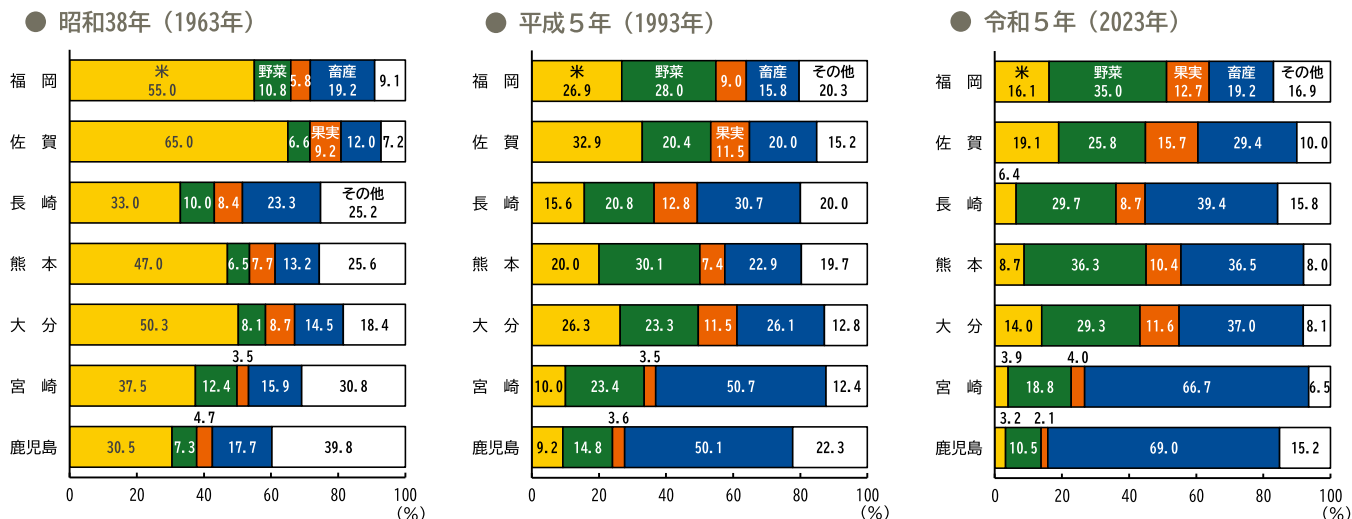
熊 本			大 分			宮 崎			鹿 児 島		
品 目	産 出 額	全 国 順 位	品 目	産 出 額	全 国 順 位	品 目	産 出 額	全 国 順 位	品 目	産 出 額	全 国 順 位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
農 業 産 出 額	3,757	5	農 業 産 出 額	1,342	25	農 業 産 出 額	3,720	6	農 業 産 出 額	5,438	2
肉 用 牛	435	4	米	188	27	ブロイラー	827	2	肉 用 牛	1,208	2
ト マ ト	400	1	肉 用 牛	150	16	肉 用 牛	765	3	ブロイラー	1,067	1
米	328	16	豚	121	19	豚	600	3	豚	910	1
生 乳	317	3	ね ぎ	101	4	き ゅ う り	196	1	鶏 卵	439	3
豚	265	11	生 乳	83	18	鶏 卵	166	20	か ん し ょ	195	2
み か ん	191	4	鶏 卵	60	32	米	146	34	米	173	31
い ち ご	160	3	ブロイラー	56	15	ビ ー マ ン	123	2	茶（生葉）	140	1
鶏 卵	146	21	ト マ ト	37	18	生 乳	86	17	さとうきび	137	2

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」（以下同じ）

 米中心の農業から多様な品目へ。

各県の農業産出額構成割合の推移をみると、全ての県において、米を中心とした農業から、次第に多様な品目への展開が進んでいることが分かります。

九州県別 農業産出額構成割合の推移



注：養蚕は、平成14年から畜産計のうち「その他畜産物」に含めています。（平成12年までの養蚕は畜産計の外数。）

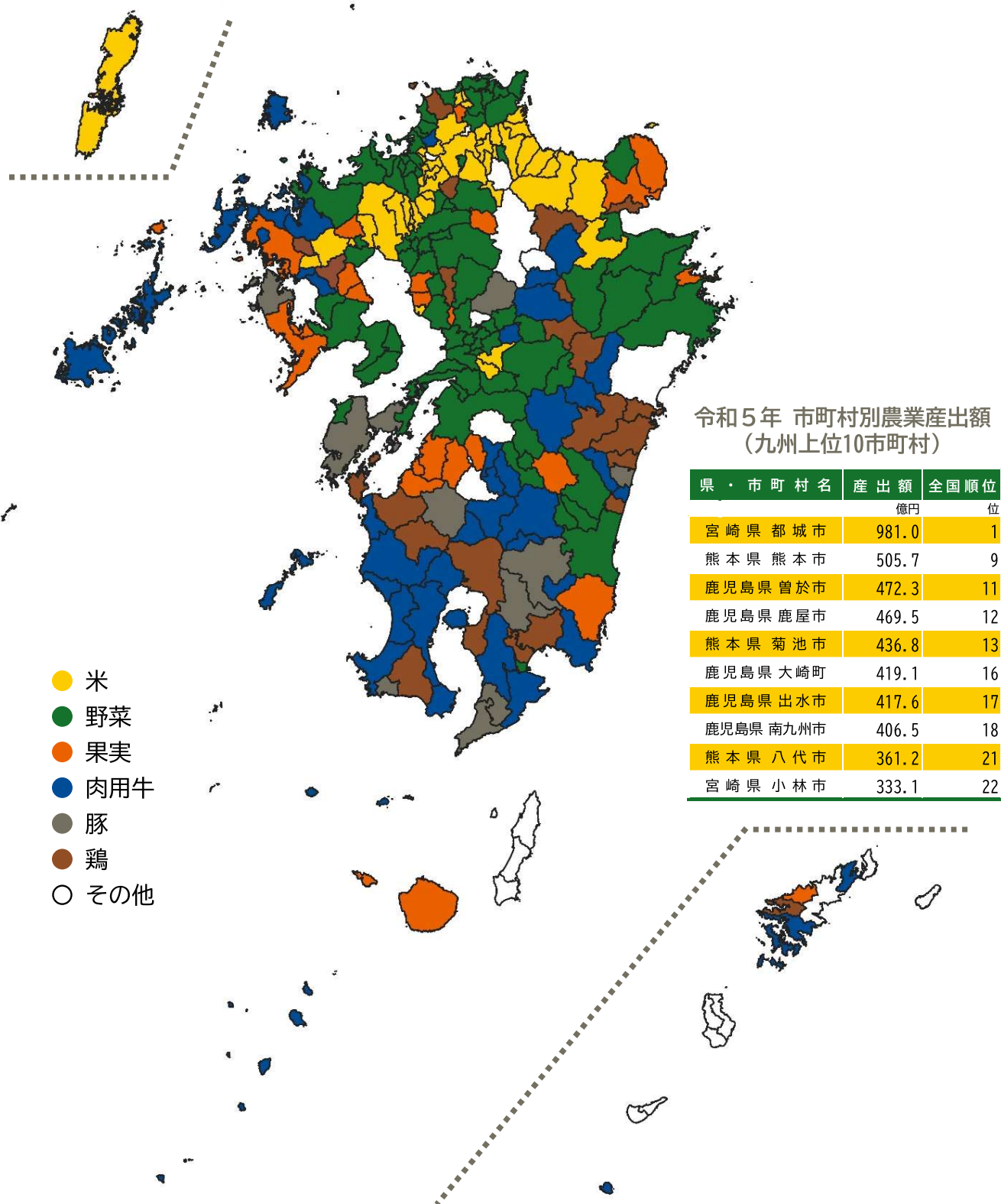
3. 農業産出額（つづき）



市町村別では、2市が全国10位以内に位置している。

令和5年の農業産出額を市町村別にみると、九州では宮崎県都城市（981.0億円。全国1位）、熊本県熊本市（505.7億円。全国9位）の2市が全国10位以内に位置しています。

令和5年 市町村別農業産出額（1位部門）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

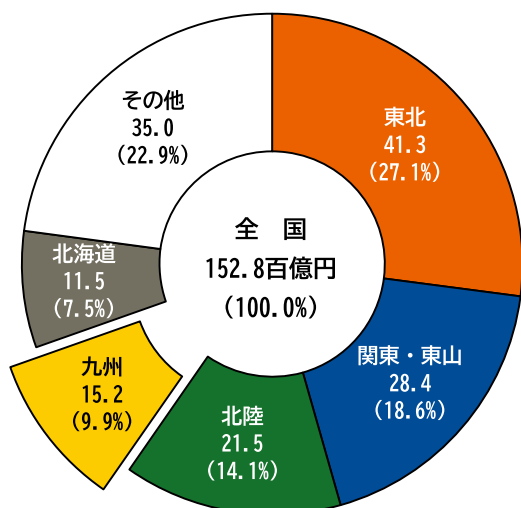
4. 米生産 - Rice Production -

九州の米の産出額は全国の10%。

令和5年における九州の米の産出額は1,518億円、全国の9.9%を占めています。

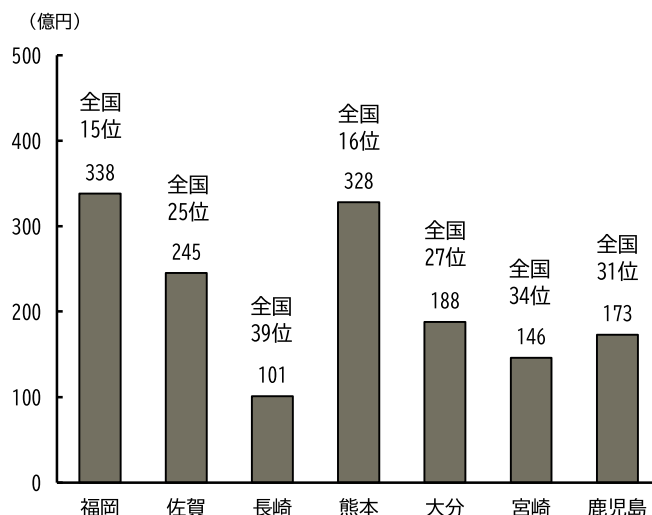
県別にみると、福岡県が338億円（全国15位）で最も産出額が大きく、次いで熊本県が328億円（同16位）、佐賀県が245億円（同25位）と続いており、全県で100億円を超えています。

農業地域別 米産出額（令和5年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州市別 米産出額（令和5年）



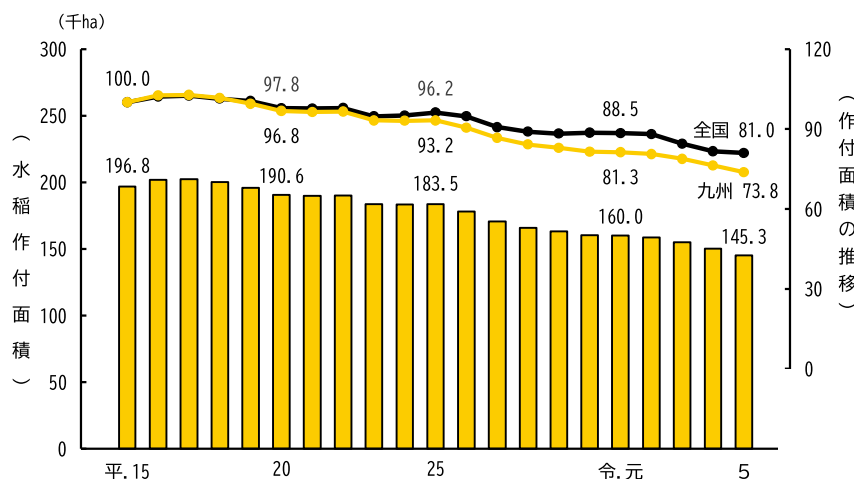
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州の水稲作付面積は20年で26%減少。

令和5年における九州の水稲作付面積は145.3千haで、20年前（平成15年）に比べ51.5千ha（26.2%）減少しており、平成15年を100とした場合の推移を全国と比較すると、九州の方が減少幅が大きくなっています。

また、品種別にみると、平成20年産では「ヒノヒカリ」が約半数を占めていたものの、近年では品種が多様化し、「さがびより」、「元気つくし」及び「にこまる」等の高温耐性品種の導入が進んでいます。

水稲作付面積の推移（九州）
平成15年を100とした場合の作付面積の推移（全国・九州）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

水稲うるち玄米品種割合（九州）
（平成20年産／令和5年産）

品 種	構 成 割 合	
	平成20年産	令和5年産
	%	%
ヒノヒカリ	47.5	30.9
夢つくし	9.5	11.2
コシヒカリ	18.7	11.1
さがびより	-	6.4
元気つくし	-	6.1
夢しずく	4.5	5.1
なつほのか	-	3.5
森のくまさん	3.6	3.3
くまさんの輝き	-	3.1
にこまる	1.3	3.1
その他	14.8	16.2

資料：農林水産省農産局「米穀の農産物検査結果等」

5. 野菜生産 - Vegetables Production -

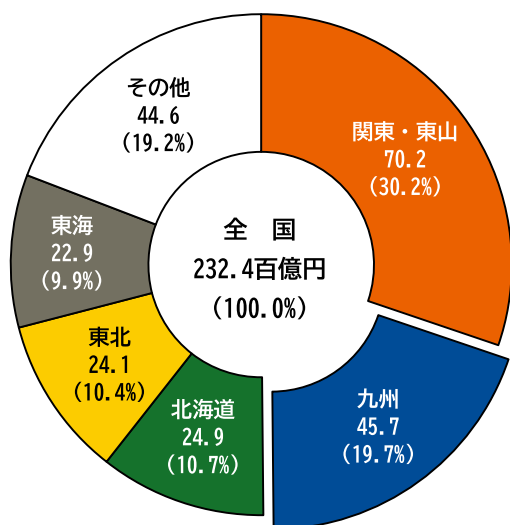


九州の野菜の産出額は全国の20%。

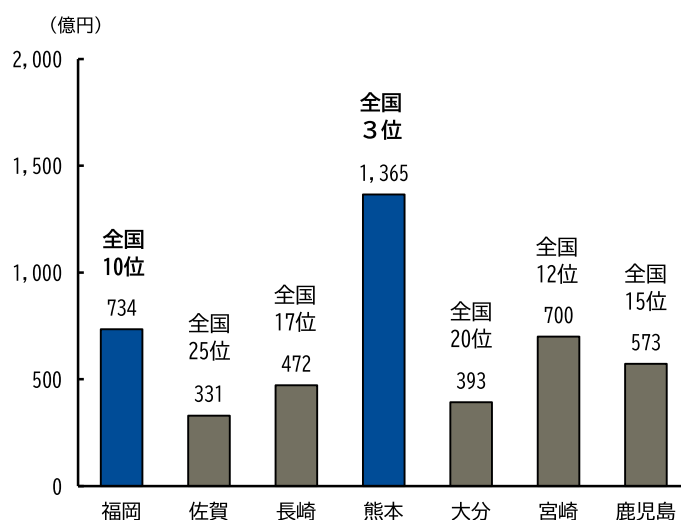
令和5年における九州の野菜の産出額は4,569億円で、全国の19.7%を占めています。

県別にみると、熊本県が1,365億円（全国3位）で最も産出額が大きく、次いで福岡県が734億円（同10位）、宮崎県が700億円（同12位）と続いており、九州では熊本県と福岡県の2県が全国10位以内に位置しています。

農業地域別 野菜産出額（令和5年）



九州県別 野菜産出額（令和5年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」（以下同じ）

注：ばれいしょは、農業産出額では「いも類」に計上しています。（作物統計では「野菜」に計上。）



九州ではいちごの産出額が最も大きい。

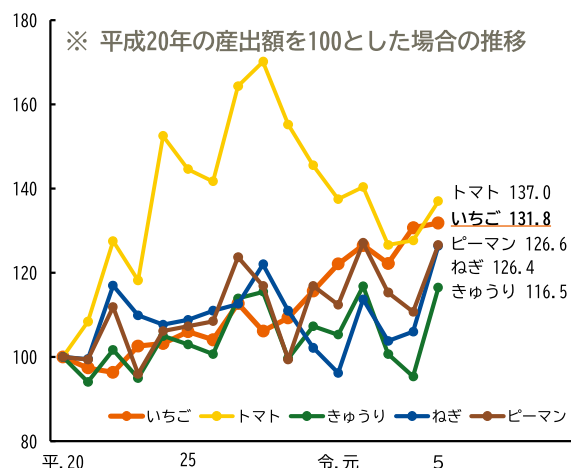
野菜の産出額を品目別にみると、九州ではいちごが705億円（全国シェア34.3%）で最も産出額が大きく、次いでトマトが618億円（同26.7%）、きゅうりが353億円（同25.0%）と続いており、上位3品目で全体の約4割を占めています。

また、上位5品目の直近15年の動向をみると、いちごは他の品目に比べて安定した増加傾向にあります。これは、各地域でブランドの開発・展開が行われ、市場価格が上昇していることが要因の一つと考えられます。

令和5年 野菜産出額の上位品目（九州）

品 目	産出額 億円	全 国 シェア %	九州内上位3県					
			県	産出額 億円	県	産出額 億円	県	産出額 億円
い ち ご	705	34.3	福 岡	244	熊 本	160	長 崎	127
ト マ ト	618	26.7	熊 本	400	宮 崎	61	福 岡	49
き ゅ う り	353	25.0	宮 崎	196	熊 本	43	佐 賀	40
ね ぎ	230	15.3	大 分	101	福 岡	57	鹿 児 島	25
ビ ー マ ン	224	35.4	宮 崎	123	鹿 児 島	55	大 分	27
な す	199	24.1	熊 本	114	福 岡	56	佐 賀	8
メ ロ ン	154	22.6	熊 本	127	長 崎	9	宮 崎	9
す い か	148	23.5	熊 本	118	長 崎	15	大 分	6

野菜産出額の動向（九州）



5. 野菜生産（つづき）

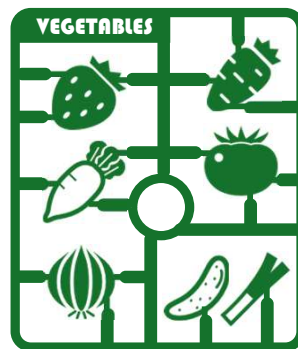
北部では葉茎菜類、南部では根菜類の産出額が大きい傾向にある。

各県の野菜の産出額の上位品目をみると、果菜類が全県に共通している一方で、九州北部では葉茎菜類、九州南部では根菜類の産出額が大きい傾向にあります。

九州県別 野菜産出額上位品目（令和5年）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
いちご	244	2	いちご	91	8	いちご	127	4	トマト	400	1
ねぎ	57	6	たまねぎ	71	3	トマト	44	17	いちご	160	3
なす	56	4	きゅうり	40	9	ブロッコリー	36	6	メロン	127	2
トマト	49	13	アスパラガス	26	3	レタス	30	7	すいか	118	1
ほうれんそう	36	6	れんこん	20	3	たまねぎ	30	4	なす	114	2
レタス	34	6	ねぎ	17	27	にんじん	28	5	きゅうり	43	8
こまつな	28	3	トマト	12	42	きゅうり	20	23	キャベツ	36	9
きゅうり	24	17	なす	8	24	アスパラガス	19	5	ブロッコリー	34	7

大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位
ねぎ	101	4	きゅうり	196	1	ピーマン	55	4
トマト	37	18	ピーマン	123	2	オクラ	50	1
いちご	31	15	トマト	61	11	だいこん	48	4
ピーマン	27	6	だいこん	36	6	キャベツ	48	6
にら	17	7	ごぼう	35	2	さやえんどう	37	1
しそ	16	2	さといも	33	2	ごぼう	29	3
キャベツ	13	16	いちご	30	18	さといも	27	5
だいこん	11	18	ほうれんそう	24	9	ねぎ	25	22



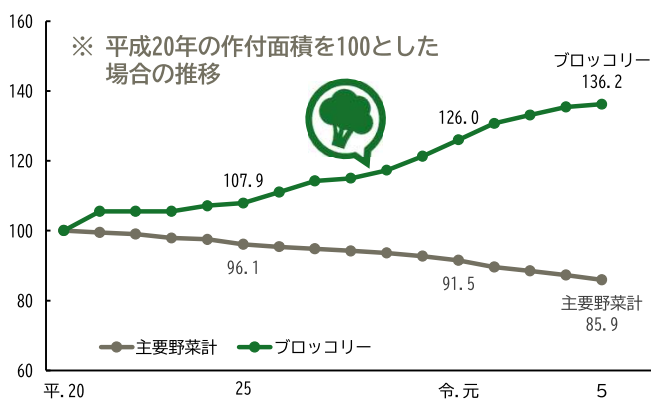
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

ブロッコリーの作付面積が増加。

全国的に野菜の作付面積が減少傾向で推移している中、ブロッコリーは食生活の変化等を背景に増加傾向にあり、令和8年度から「野菜生産出荷安定法」に基づく指定野菜に追加されます。

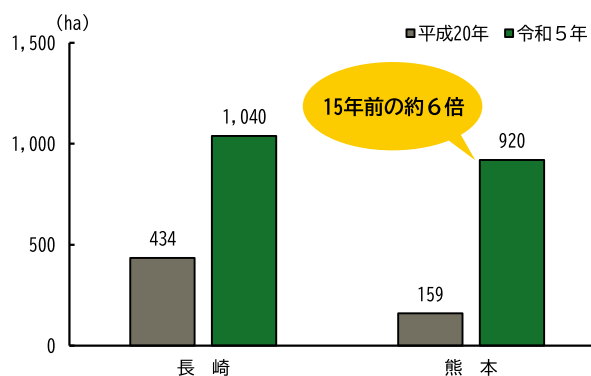
九州では、長崎県及び熊本県が主産県であり、作付面積を15年前（平成20年）と比較すると、長崎県では606ha（139.6%）、熊本県では761ha（478.6%）増加しています。

主要野菜とブロッコリーの動向（全国）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

ブロッコリー作付面積（長崎・熊本）
（平成20年／令和5年）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

6. 果実生産 - Fruit Production -

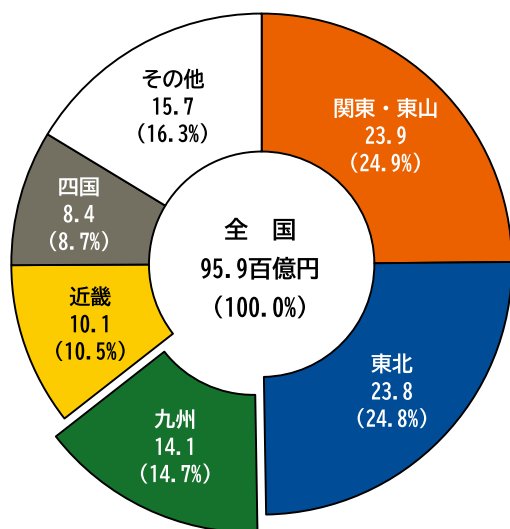


九州の果実の産出額は全国の14%。

令和5年における九州の果実の産出額は1,413億円で、全国の14.7%を占めています。

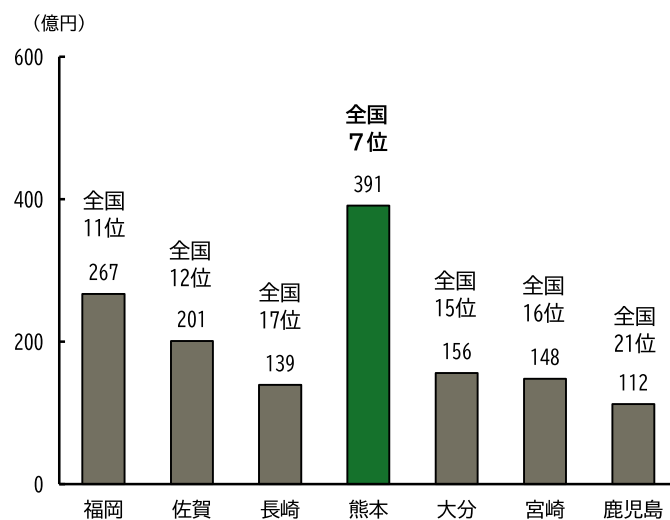
県別にみると、熊本県が391億円（全国7位）で最も産出額が大きく、次いで福岡県が267億円（同11位）、佐賀県が201億円（同12位）と続いており、九州では熊本県が全国10位以内に位置しています。

農業地域別 果実産出額（令和5年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州県別 果実産出額（令和5年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



九州ではみかんの産出額が最も大きい。

果実の産出額を品目別にみると、九州ではみかんが562億円（全国シェア32.4%）で最も産出額が大きく、次いでぶどうが193億円（同9.3%）、しらぬい（デコポン）が118億円（同68.6%）と続いており、上位3品目で全体の約6割を占めています。

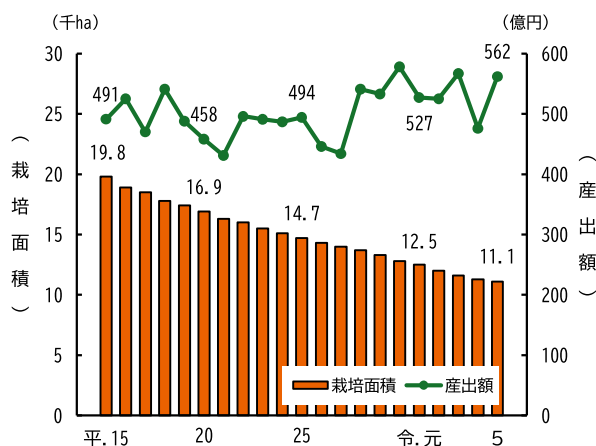
また、みかんの直近20年の動向をみると、栽培面積が減少傾向で推移している一方で、産出額は近年増加傾向で推移しています。これは、消費者ニーズに合致した高品質な果実が市場・消費者に評価され、市場価格が堅調に推移していることが要因の一つと考えられます。

令和5年 果実産出額上位品目（九州）

品目	産出額		九州内上位3県					
	億円	全国シェア %	県	産出額 億円	県	産出額 億円	県	産出額 億円
みかん	562	32.4	熊本	191	佐賀	139	長崎	105
ぶどう	193	9.3	福岡	99	大分	33	熊本	23
しらぬい	118	68.6	熊本	81	佐賀	13	鹿児島	11
日本なし	104	14.5	大分	28	熊本	27	福岡	26
マンゴー	61	71.8	宮崎	49	鹿児島	9	熊本	3
かき	57	12.3	福岡	41	熊本	10	大分	3
キウイフルーツ	32	29.4	福岡	21	佐賀	4	大分	3
くり	28	23.9	熊本	21	宮崎	3	大分	2

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

みかんの動向（九州）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

6. 果実生産（つづき）



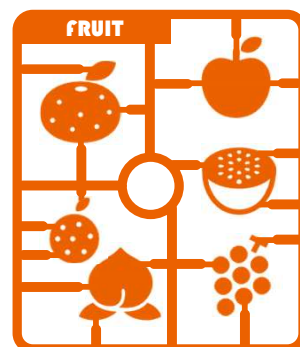
1県で全国シェア50%を超える品目も。

各県の果実の産出額の上位品目をみると、みかんやぶどうが全県に共通している一方で、大分県のカボス（産出額27億円、全国シェア100.0%）、宮崎県のマンゴー（同49億円、同57.6%）、きんかん（同19億円、同70.4%）及び日向夏（同19億円、同65.5%）、鹿児島県のたんかん（同11億円、同84.6%）等、1県のみで全国シェア50%を超える品目もあり、地域によって特色があることが分かります。

九州県別 果実産出額上位品目（令和5年）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位
ぶどう	99	5	みかん	139	5	みかん	105	6	みかん	191	4
みかん	50	8	日本なし	17	14	びわ	9	1	しらぬい	81	1
かき	41	3	しらぬい	13	4	ぶどう	9	28	日本なし	27	8
日本なし	26	9	ぶどう	7	34	しらぬい	4	8	ぶどう	23	13
キウイフルーツ	21	2	キウイフルーツ	4	8	もも	3	17	くり	21	2
もも	9	8	うめ	4	8	日本なし	2	41	かき	10	12
いちじく	7	4	もも	2	20	うめ	1	28	ブンタン	9	2
すもも	4	6	かき	1	35	ポンカン	1	9	もも	7	13

大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位
みかん	35	10	マンゴー	49	1	みかん	27	13
ぶどう	33	10	きんかん	19	1	なつみかん	13	1
日本なし	28	7	日向夏	19	1	しらぬい	11	5
カボス	27	1	みかん	15	19	たんかん	11	1
しらぬい	4	7	ぶどう	14	21	マンゴー	9	3
ゆず	3	5	ゆず	5	3	ぶどう	9	29
キウイフルーツ	3	9	日本なし	4	32	ポンカン	7	2
かき	3	24	しらぬい	4	9	きんかん	6	2



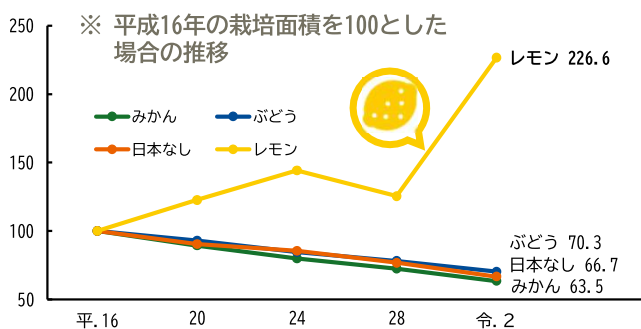
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



レモンの栽培面積が増加。

農家数の減少・高齢化等を背景に主要品目の栽培面積が減少している一方で、多様な品目への転換も行われています。近年は、国内需要の増加等を背景に、全国的にレモンの栽培面積が増加しており、九州では宮崎県と熊本県を中心に生産が行われています。

果実主要品目及びレモンの動向（九州）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（レモン以外）
農林水産省統計部「特産果樹生産動態等調査」（レモン）

令和4年 レモンの生産状況（九州）

	栽培面積 ha	収穫量 t	出荷量 t	加工向け t
九州計	110	987	857	91
福岡	4	19	18	2
佐賀	12	180	164	0
長崎	10	97	88	1
熊本	26	274	227	6
大分	25	28	20	4
宮崎	32	386	338	79
鹿児島	2	3	3	0

資料：農林水産省統計部「特産果樹生産動態等調査」

7. 畜産物生産 - Livestock Production -

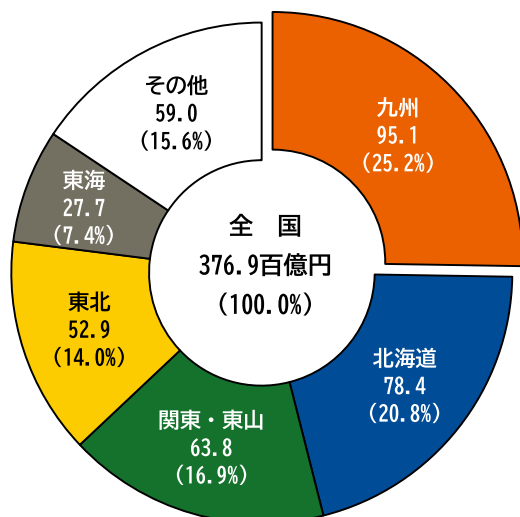


九州の畜産の産出額は全国の25%。

令和5年における九州の畜産の産出額は9,511億円で、全国の25.2%を占めています。

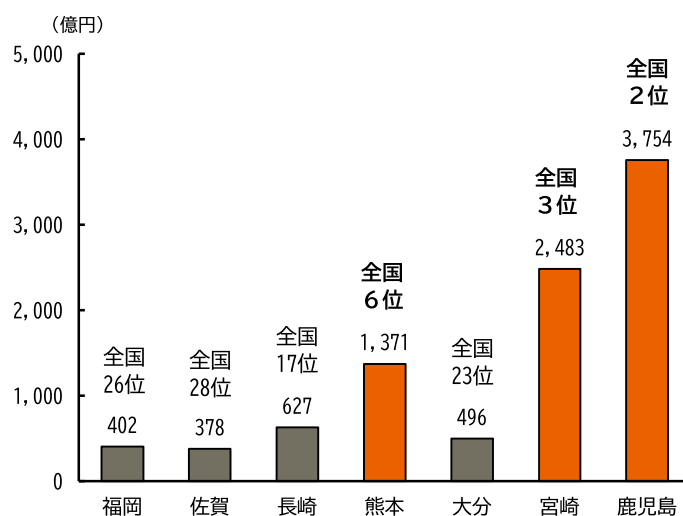
県別にみると、鹿児島県が3,754億円（全国2位）で最も産出額が大きく、次いで宮崎県が2,483億円（同3位）、熊本県が1,371億円（同6位）と続いており、九州では熊本県、宮崎県及び鹿児島県の3県が全国10位以内に位置しています。

農業地域別 畜産産出額（令和5年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州県別 畜産産出額（令和5年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



九州では肉用牛の産出額が最も大きい。

畜産の産出額を品目別にみると、九州では肉用牛が3,072億円（全国シェア39.5%）で最も産出額が大きく、次いでブロイラーが2,282億円（同51.0%）、豚が2,147億円（同29.6%）と続いており、上位3品目で全体の約8割を占めています。

また、肉用牛の直近20年の動向をみると、農家の高齢化や後継者不足等を背景に飼養戸数が減少傾向で推移している一方で、1戸当たりの規模拡大が進展していることから、飼養頭数はほぼ横ばいで推移しています。

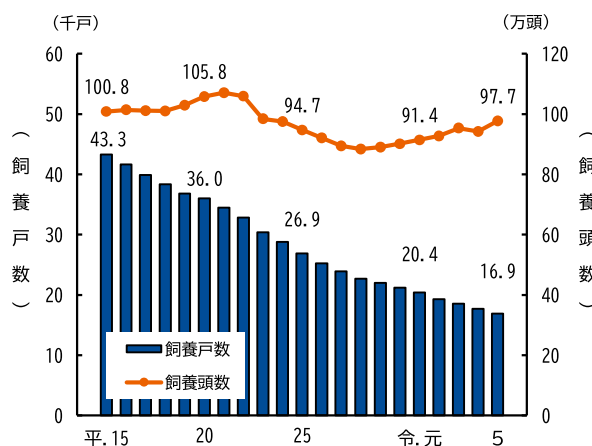
令和5年 畜産物産出額の上位品目（九州）

品目	産出額		九州内上位3県					
	億円	全国シェア %	県	産出額 億円	県	産出額 億円	県	産出額 億円
肉用牛	3,072	39.5	鹿児島	1,208	宮崎	765	熊本	435
ブロイラー	2,282	51.0	鹿児島	1,067	宮崎	827	熊本	112
豚	2,147	29.6	鹿児島	910	宮崎	600	熊本	265
鶏卵	1,037	13.8	鹿児島	439	宮崎	166	熊本	146
生乳	711	8.5	熊本	317	鹿児島	88	宮崎	86
ひな	100	24.6	鹿児島	29	宮崎	22	福岡	20
乳牛	70	9.7	熊本	35	宮崎	8	鹿児島	8
馬	32	55.2	熊本	24	福岡	5	宮崎	0

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

注：「ひな」は他都道府県に販売したもの。

肉用牛の動向（九州）



資料：農林水産省統計部「畜産統計」

7. 畜産物生産（つづき）



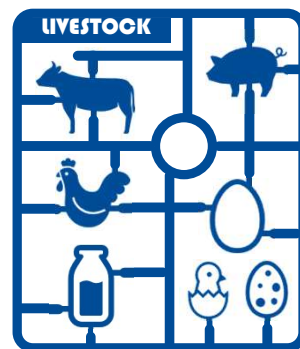
ブロイラーは2県で全国シェア40%を超える。

各県の畜産の産出額の上位品目をみると、肉用牛では熊本県（産出額435億円、全国シェア5.6%）、宮崎県（同765億円、同9.8%）及び鹿児島県（同1,208億円、同15.5%）の3県で全国シェア30%を超え、ブロイラーでは宮崎県（同827億円、同18.5%）及び鹿児島県（同1,067億円、同23.9%）の2県で全国シェア40%を超えています。このことから、九州が南部を中心とした畜産の重要拠点であることが分かります。

九州市別 畜産産出額上位品目（令和5年）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位
鶏卵	118	22	肉用牛	185	11	肉用牛	250	7	肉用牛	435	4
肉用牛	79	26	ブロイラー	101	9	豚	142	15	生乳	317	3
生乳	73	23	豚	55	27	鶏卵	92	25	豚	265	11
豚	55	28	鶏卵	16	41	ブロイラー	89	11	鶏卵	146	21
ブロイラー	30	23	生乳	15	43	生乳	48	28	ブロイラー	112	6
ひな	20	9	乳牛	2	36	乳牛	5	17	乳牛	35	3

大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位	品目	産出額 億円	全国順位 位
肉用牛	150	16	ブロイラー	827	2	肉用牛	1,208	2
豚	121	19	肉用牛	765	3	ブロイラー	1,067	1
生乳	83	18	豚	600	3	豚	910	1
鶏卵	60	32	鶏卵	166	20	鶏卵	439	3
ブロイラー	56	15	生乳	86	17	生乳	88	15
ひな	11	14	ひな	22	8	ひな	29	5



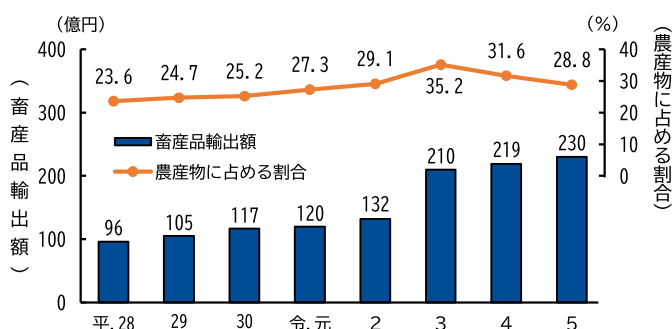
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



九州の畜産物の輸出額は増加傾向で推移。

令和5年における九州の港等からの畜産物（牛肉、豚の皮、鶏卵等）輸出額は230億円で、農産物全体の28.8%を占めています。香港や台湾を中心に需要が拡大しており、7年前（平成28年）に比べ134億円（139.6%）増加しています。

畜産物輸出額の推移（九州）



資料：九州農政局「見たい！知りた！九州農業」
注：財務省貿易統計をもとに、九州地域の港等からの輸出額を九州農政局で参考集計したもの。

牛肉の主な輸出先（令和5年）

- 佐賀：香港、タイ、台湾 等
- 長崎：タイ、香港 等
- 熊本：台湾、香港、アメリカ 等
- 大分：台湾、アメリカ、香港 等
- 宮崎：台湾、アメリカ、香港 等
- 鹿児島：香港、EU 等

資料：九州農政局調べ（各県からの聞き取り）

8. 九州農業に関する主要統計指標

項 目		単 位	年 次	全 国	九 州	全国シェア	摘 要（ 資 料 名 ）
農業経営体		千経営体	令和 5 年	929.4	143.4	15.4%	令和 5 年農業構造動態調査
	個人経営体	〃	〃	888.7	136.0	15.3%	〃
	団体経営体	〃	〃	40.7	7.4	18.2%	〃
	うち、法人経営体	〃	〃	33.0	6.0	18.2%	〃
基幹的農業従事者	数	千人	令和 5 年	1,163.5	193.0	16.6%	令和 5 年農業構造動態調査
	平均年齢	歳	〃	68.7	67.4	…	〃
耕地面積		千ha	令和 5 年	4,297.0	506.3	11.8%	令和 5 年耕地及び作付面積統計
	田	〃	〃	2,335.0	295.8	12.7%	〃
	畑	〃	〃	1,962.0	210.5	10.7%	〃
耕地利用率		%	〃	91.0	102.2	…	〃
農業産出額		億円	令和 5 年	95,543	19,226	20.1%	令和 5 年農業産出額
	耕種	〃	〃	57,345	9,557	16.7%	〃
	畜産	〃	〃	37,685	9,511	25.2%	〃
	加工農産物	〃	〃	513	158	30.8%	〃
生産農業所得		〃	〃	33,417	6,952	20.8%	〃
水 稻	作付面積（子実用）	ha	令和 5 年	1,344,000	145,300	10.8%	令和 5 年産作物統計
	10 a 当たり収量	kg	〃	533	497	…	〃
	収穫量（子実用）	t	〃	7,165,000	722,000	10.1%	〃
飼 養 頭 羽 数	乳用牛（めす）	頭	令和 5 年	1,356,000	102,100	7.5%	令和 5 年畜産統計（令和 5 年 2 月 1 日現在）
	肉用牛	〃	〃	2,687,000	977,400	36.4%	〃
	豚	〃	〃	8,956,000	2,818,000	31.5%	〃
	採卵鶏（種鶏を除く）	千羽	〃	169,810	23,459	13.8%	〃
	ブロイラー	〃	〃	141,463	74,113	52.4%	〃

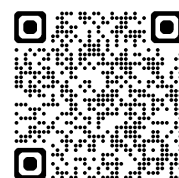
項 目	単 位	年 次	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	宮 崎	鹿児島
農業経営体	千経営体	令和5年	24.4	13.0	16.6	30.9	16.6	17.1	24.7
個人経営体	〃	〃	23.2	12.1	16.1	29.4	15.7	16.3	23.2
団体経営体	〃	〃	1.2	0.9	0.5	1.5	0.9	0.8	1.5
うち、法人経営体	〃	〃	0.9	0.4	0.4	1.3	0.8	0.8	1.4
基幹的農業従事者	数	千人	33.3	16.8	23.6	43.5	17.6	27.7	30.5
	平均年齢	歳	68.0	66.8	66.6	66.2	71.2	66.9	67.7
耕地面積	千ha	令和5年	78.4	49.9	45.2	104.3	54.0	63.7	110.7
田	〃	〃	63.5	41.6	20.7	64.0	38.5	33.9	33.6
畑	〃	〃	14.9	8.3	24.6	40.3	15.5	29.8	77.1
耕地利用率	%	〃	114.9	133.3	92.9	98.9	90.2	102.8	91.4
農業産出額	億円	令和5年	2,096	1,284	1,590	3,757	1,342	3,720	5,438
耕種	〃	〃	1,683	901	960	2,368	839	1,197	1,609
畜産	〃	〃	402	378	627	1,371	496	2,483	3,754
加工農産物	〃	〃	12	5	2	18	8	39	75
生産農業所得	〃	〃	938	609	561	1,554	537	1,219	1,534
水 稻	作付面積（子実用）	ha	令和5年	32,800	22,200	10,000	30,000	18,300	14,700
	10a当たり収量	kg	〃	480	521	488	518	491	486
	収穫量（子実用）	t	〃	157,400	115,700	48,800	155,400	89,900	71,400
飼 養 頭 羽 数	乳用牛（めす）	頭	令和5年	10,700	1,970	6,170	43,800	13,300	13,400
	肉用牛	〃	〃	23,400	52,400	91,700	139,100	52,800	260,200
	豚	〃	〃	78,800	85,400	194,600	338,000	149,700	818,200
	採卵鶏（種鶏を除く）	千羽	〃	3,430	200	1,942	2,555	960	2,790
	ブロイラー	〃	〃	1,185	3,949	3,024	3,969	2,447	28,254

注：統計値は、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。

-
1. 農業経営体
 2. 耕地面積
 3. 農業産出額
 4. 米生産
 5. 野菜生産
 6. 果実生産
 7. 畜産物生産
 8. 主要統計指標

—— 問合せ先 ——

九州農政局統計部
統計企画課
TEL : 096-211-9111



九州農政局「統計情報」